

マスターピース

MUSEO LARCO

古代アンデスの語り部たち

ラルコ博物館全体図



- インフォメーション
- チケット販売
- 手荷物預り所
- カフェ・レストラン
- 洗面所
- おむつ交換台
- 売店・ミュージアムショップ
- 駐車場
- スロープ

ラルコ博物館のマスターピースを見つけよう

古代アンデスは多くの文明発祥の地と同じく農耕社会であり、自然のサイクルの理解は最大の関心事だった。自然環境と強く密接に関わっていた古代アンデスの人々は、太陽や星、神々が住まい、栽培に必要な雨をもたらす天上世界と、植物が育ち死者が住まう暗く湿った母なる大地「パチャママ」や地下世界の存在を信じていた。この対極的かつ補完的な2つの世界の出会い「ティンクイ」が起こるのが、我々人間の住まう地上世界である。地上世界では、太陽光と水と大地の接触や性的結合など、対極的な力の結び付きから命が生み出される。

ラルコ博物館の12点のマスターピースを通じて、あなたは古代アンデスの5千年の歴史を旅し、当時の人々と自然との間の深い絆を発見できることでしょう。



2 パコパンパの女神
(紀元前1250年頃 - 紀元前後)
鳥(天上世界)、ネコ科動物(地上世界)、蛇(地下世界)の特徴を持つ力強い神の石像。口からは蜘蛛の巣のようなものが流れ出ている。
展示ケース11 / ML300025



3 アイ・アパエック神の旅
(紀元前後 - 800年頃)
ネコ科動物の巨大な牙を持つモチエの神アイ・アパエックは、様々な世界を横断する蛇のベルトや耳飾りを身に付け、自然のサイクルを維持している。
展示ケース18 / ML018882



4 モチエの肖像土器
(紀元前後 - 800年頃)
驚くべきリアリズムで表現された肖像土器。死者の顔は地下や死者の世界を、額飾りを身に着けた男性は地上や人間の世界を、ネコ科動物の牙を持つ人物は天上や神々の世界を象徴している。
展示ケース20 / ML003022, ML013572, ML013574



5 ナスカのシャーマンの太鼓
(紀元前後 - 800年頃)
幻覚作用のある植物の摂取後、様々な世界とコンタクトを取るシャーマンの男性が表されている。
展示ケース35 / ML013683



6 パラカスのドラゴンのマント
(紀元前1250年頃 - 紀元前後)
南部海岸地方では、死者は聖なる織物に包まれた。人々は祖先の体を、地下世界に戻っていく種に仕立てたのである。
展示ケース52 / ML600068



7 モチエ文化の生贄の儀式
(紀元前後 - 800年頃)
自然界において死は生へとつながる重要なプロセスである。この器で表される人身供犠は、冬から春への移行を示す春分に関連していると考えられる。農業の営みにおいて、雨期の始まりを意味する春分は重要であった。
展示ケース68 / ML010847



1 パコパンパのネコ科動物
(紀元前1250年頃 - 紀元前後)
アンデス世界において、自らの生存のために他の動物の命を奪う悍猛で力強いジャガー等のネコ科動物は、地上世界の権力の象徴だった。
展示ケース2 / ML301346



8 チムーの金と銀の器
(1300年頃 - 1532年)
二元性や相反しながらも補完しあう力の存在を表す器。金は太陽や昼、乾季、男性を、銀は月、夜、雨期、男性を象徴する。
展示ケース95 / ML100865



12 モチエ文化の先祖
(紀元前後 - 800年頃)
これらの土器では、地下(死者)世界の住民であるモチエの先祖が、母なる大地パチャママを受胎(肥沃に)させる力を示している。
展示ケースE10 / ML004426
Vitrina E42 / ML004199



11 黄金の葬儀用装身具
(1300年頃 - 1532年)
この装身具一式は、日干しレンガの都市チャンチャンの重要な指導者が所有していた。黄金の王冠や胸飾り、肩当てに表現される羽は、鳥や太陽など天上世界との関わりを表現している。
展示ケース156 / ML100855

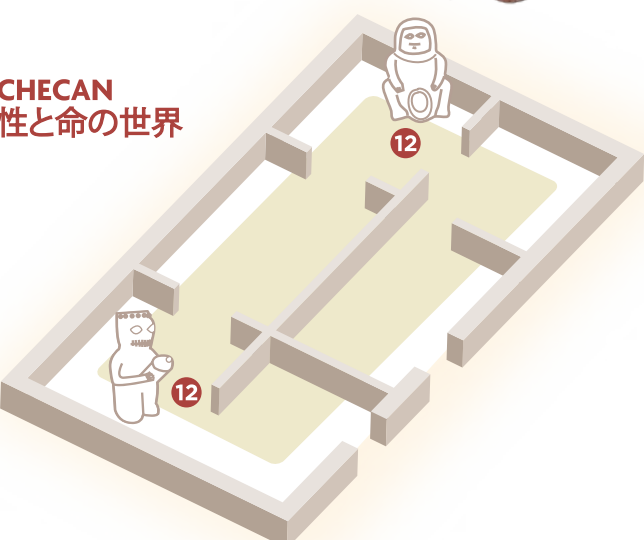


10 モチエ文化の額飾り
(紀元前後 - 800年頃)
ネコ科動物、キツネ、鳥、蛇等の特徴や力を持つ神秘的な存在が表される額飾り。指導者たちは、複数の世界を仲介する能力の象徴としてこのような額飾りを身に着けた。
展示ケース150 / ML100769



9 フリのミイラ包み
(800年頃 - 1300年)
装身具や葬儀用の仮面で飾られたミイラ包み。この中には布に巻かれた男児のミイラが納められている。古代アンデスでは、地下世界へ旅立つ前の死者には丁寧な準備が施された。
展示ケース130 / ML800001

CHECAN 性と命の世界



来館案内

MUSEO LARCO

ラルコ博物館はペルー考古学のパイオニアであるラファエル・ラルコ・ホイレにより1926年に設立され、5千年以上にわたる古代アンデスの歴史を紹介・展示しています。

info@museolarco.org

T: (+51-1) 461-1312

住所

Av. Bolívar 1515, Pueblo Libre.

Entrada por calle Navarra 169, Pueblo Libre.

Lima 21, Perú.

開館時間

Webサイトでご確認ください。

館員によるご案内

ラルコ博物館館員による古代アンデス文化発見の旅をお楽しみいただけます。スペイン語または英語での案内が可能です。ファミリーや学生向けその他特別プログラムがご予約いただけます。

WWW.MUSEOLARCO.ORG